

研究ノート

四字熟語とその創造的用法に関する研究

A Study of Japanese Idioms Composed of Four Chinese Characters and Their Creative Uses

東森 勲（龍谷大学名誉教授）

キーワード：パロディ、ユーモア、四字熟語、創造的用法

Keywords: Parody, Humor, Japanese Idioms Composed of Four Chinese Characters, Creative Uses

要旨：本稿では四字熟語の創造的使用について関連性理論(Relevance Theory)を用いて、形式的類似性、意味的類似性に基づきいくつかのタイプの分類を行う。特に、若者文化などでは創作的四字熟語を用いることで、価値観の落差を楽しんでいることを確認する。

Summary: This paper focuses on the creative uses of Japanese idioms composed of four Chinese Characters in the framework of Relevance Theory. We shall consider the classification of various types based on their similarity in form and meaning. Especially, in Japanese youth culture, they appreciate the differences in values by using creative Four-Chinese-Character idioms.

はじめに

2020年はコロナのために、「不要不急」「濃厚接触」「都市封鎖」などの四字熟語が飛び交った一年となった。2019年はリチウムイオン電池でノーベル賞を日本人がとったので、「天地創造」をもじった<電池創造>などの創作四字熟語が作られた。<以下、下線部はもとの四字熟語と異なる部分を表す>

このように世の中の変化をすばやく察知して、創作四字熟語がつくられることが多い。一方、お店の名前などに、この創作四字熟語を用いて多くの客を呼び込もうとする場合もある。大阪にある「一鳥一炭」の店の名前<一鳥一炭>はもとの四字熟語は「一長一短」である。

【四文字熟語】 一長一短

【読み方】 いちちょういったん

【意味】 どんなもの・ことにも、長所（いい面）もある一方、必ず短所（悪い面）もそれにともなっているということ。

この店名<一鳥一炭>の音はいちちょういったんでもとの四字熟語と発音が同じであるが、漢字がことなる。意味はどうなるのでしょうか？お店のオフィシャルサイトでは「素材の

品質、こだわりの味を導き出すため、炭火と職人の技で「本気で焼く、美味しい鳥」を追求し続けています。」とある。すなわち、〈一鳥一炭〉では意味するところは「鳥一筋に、炭火で焼いて一番美味しいものをめざしている店」のような解釈が可能である。本稿はことわざとその創造的用法の収集とその意味についての研究となります。広く言えば、パロディ、ユーモアの研究となる。

一般の日本語ことわざも、さまざまな拡張用法を創造できる。たとえば、お年寄りをテーマにして「苦しい時の神頼み」から「苦しい時の酸素吸入」、「早起きは三文の徳」から「早起きは嫌われる」など、もとのことわざが具体世界から抽象的な一般化をしているのに対して、創造的用法では、具体世界を描くことが多いようである。次のような例もある。「弘法も筆の誤り」から〈方々に筆の誤り〉、「嘘も方便」から〈嘘の答弁〉、「地獄の沙汰も金次第」から〈五輪の沙汰も金次第〉、〈地獄の沙汰も弁護士次第〉が生れ、「覆水盆に帰らず」から「盆」の意味が仏教にかかわる「お盆」の意味となり〈悪妻盆に帰らず〉となる。もとのことわざの意味から創造的用法の意味へと変化する。

四字熟語の創造的用法としては、一般の四字熟語の創造的用法は、たとえば、「奇想天外」から「危草千害」（意味：危険ドラッグ、千害あって一利なし）、「家内安全」から「蚊無安全」（意味：蚊に刺されないと安全。刺されたら Dengue 熱を発症）、「百花繚乱」から「雪歌繚乱」（意味：アナと雪の女王が大ヒット。日本全国「レリゴー！」の嵐）、「用意周到」から「用意終活」（意味：死後のことまで生前に準備する）——住友生命 2014 年優秀作品 など、音と意味の類似を用いたことばの創造が可能である。変化のタイプとしては、4 文字すべて入れ替えたタイプ（タイプ 1）、前半の 2 文字を入れ替えたタイプ（タイプ 2）、後半の 2 文字を入れ替えたタイプ（タイプ 3）などがあると分析される。

さらに、仏教から来た四字熟語には「四苦八苦、自業自得、他力本願、悲願成就」などがあるが、（森章司・小森英明(2008)、須藤隆仙(1998)、桐山はせお(2010)）その創造的用法については、たとえば、タイプ 3 では「六根清浄」から〈六根笑浄〉とかかれて、意味は笑には、身も心も清める効果があるとなる。タイプ 1 では「以心伝心」から〈地震前進〉となり意味は日本列島で地震あるたびに、ハワイ方向に前進しているという意などがある。本稿ではこのような四字熟語の創造的用法のデータの収集とその分析を試みる。

2. 分析（1）形式と類似性について

小松原(2016:125)ではもじりについて次のように引用している：「もじり」は、兼用法や反復法に対して消極的に定義される。兼用法や反復法には、次の条件が要求される。第 1 に、同音性が完全であること、第 2、二通りの伝達内容がそれぞれ意味をもつこと、第 3 に、それぞれに統辞法が遵守されていること。「これらの条件のひとつでも欠ければ地口は多かれ少なかれ近似的となる。それがもじりである」(Guiraud(1976), tr32) Guiraud, Pierre (1976) *Les Jeux de Mots*. Paris: Presses Universitaires de France (中村英子訳, 1979. 『言葉遊び』東京：白水社)

Wilson and Sperber(1992)による関連性理論では parody の分析は論理形式（四字熟語では以下[ABCD]となる）にエコーすること、統語的語彙的形式の類似性に基づく

とされている。以下ではこの枠組みで考察する。たとえば、英語のことわざ **An apple a day keeps the doctor away**. (一日にリンゴ1個で医者いらず) のパロディは **A handful nuts a day keeps the doctor away**. (*The Times*, Nov 14, 2017) (片手いっぱいナッツを食べると医者いらず) で、両者の共通した論理形式は [X a day keeps the doctor away] となり、X のところが、もとのことわざ an apple から創造的広告では a handful nut に変更したものとなり、ナッツのコマーシャルとして使用されている。

2.1 音は類似しているが、4文字の論理形式 ABCD がすべて異なるもの<タイプ1>

2019年住友生命の創作四字熟語 (<https://cam.sumitomolife.co.jp/jukugo/>) では、自己防衛から事故防映 (ドライブレコーダーが事故の時に友好であること)、輪廻転生から林檎転唱 (ものまねリンゴちゃんが声を転じて歌う) などがこのタイプである。

2.1.1 阿鼻叫喚 (あびきょうかん) —— 安倍驚管 (あべきょうかん) —— 住友生命 2016
音：類似：阿鼻 (あび) —— 安倍 (あべ)

叫喚 (きょうかん) —— 驚管 (きょうかん)

文字：すべて異なる：阿鼻叫喚 —— 安倍驚管

表意：リオ五輪の開館式で、**安倍**首相が**土管**から出てきたので、見ている人は**驚**いた。

なお、関連性理論 (認知語用論) では四字熟語で表現された情報 (漢字4文字) から、論理的要素も追加し肉付けしたものを**表意**という。表意とは従来の<文字通りの意味>より広いで、四字熟語から復元された意味を表す。(なお、**推意**とは暗に述べられている意味で、言語表現されたものと知識との演算で、推論によりでてきた結果の**暗に伝えたい意味**を表す。)

2.1.2 破顔一笑 (はがんいっしょう) —— 羽願優勝 (はがんゆうしょう) —— 住友生命 2016
音：類似：破顔 (はがん) —— 羽願 (はがん)

一笑 (いっしょう) —— 優勝 (ゆうしょう)

文字：すべて異なる：破顔一笑 —— 羽願優勝

表意：リオ五輪で、**羽**を使うバドミントン女子ダブルスで**願**いかなって**優勝**。

2.1.3 合縁奇縁 (あいえんきえん) —— 愛煙消煙 (あいえんきえん) —— 住友生命 2016
音：類似：合縁 (あいえん) —— 愛煙 (あいえん)

奇縁 (きえん) —— 消煙 (きえん)

文字：すべて異なる：合縁奇縁 —— 愛煙消煙

表意：**愛煙**家の中で、次世代のたばこ iQOS が**煙**が**消**えたので大人気になる。

2.1.4 厚顔無恥 (こうがんむち) —— 鮫岸無人 (こうがんむじん) —— 住友生命 2015
<タイプ1>

音：類似：厚顔 (こうがん) —— 鮫岸 (こうがん)

無恥(むち) —— 無人(むじん)

文字：すべて異なる：厚顔無恥——鮫岸無人

表意：日本各地の海岸で鮫(サメ)を目撃したので、シーズン中にもかかわらず人の姿は海岸には無い。

2.1.5 無縁夢想(むえんむそう) —— 夢現武蔵(むげんむそう) —— 住友生命 2015

音：類似：無縁(むえん) —— 夢現(むげん)

夢想(むそう) —— 武蔵(むそう)

文字：すべて異なる：無縁夢想——夢現武蔵

表意：フィリピン沖海底で戦艦武蔵とみられる船体が発見され、夢が現実化した。

2.1.6 以心伝心(いしんでんしん) —— 医進轉身

音：類似：以心(いしん) —— 医進(いしん)

伝心(でんしん) —— 轉身(てんしん)

文字：すべて異なる：以心伝心——医進轉身

表意：医学部に進み轉身する。

2.1.7 以心伝心(いしんでんしん) —— 一新電信(いっしんでんしん) —— 『創作四字熟語』 p. 31

音：類似：以心(いしん) —— 一新(いっしん)

伝心(でんしん) —— 電信(でんしん)

文字：すべて異なる：以心伝心——一新電信

表意：マルチメディア、携帯電話、PHSなど、電信(通信の世界)は一新しています。

2.1.8 以心伝心(いしんでんしん) —— 私信電信(ししんでんしん) —— 『創作四字熟語』 p. 157

音：類似：以心(いしん) —— 私信(ししん)

伝心(でんしん) —— 電信(でんしん)

文字：すべて異なる：以心伝心——私信電信

表意：最近では自宅でもネット、FAXなど使用、これまでオフィスでビジネス中心だったが、これからは私信も電信の時代である。

2.1.9 以心伝心(いしんでんしん) —— 維新電信(いしんでんしん) —— 『創作四字熟語』 p. 154

音：類似：以心——維新、伝心——電信

文字：すべて異なる

表意：FAXやパソコン通信など技術の維新が盛んな電信。ツートンから考えるとすごい進歩である。

2.1.10 合縁奇縁(あいえんきえん) —— 哀円危円(あいえんきえん) —— 『創作四字熟語』 p. 64

音：類似：-合縁(あいえん) —— 哀円(あいえん) -

奇縁(きえん) 危円(きえん)

文字：すべて異なる-合縁奇縁——哀円危円

表意：哀愁ただよ昔の円安、企業経営を危険な状態へともたらず円高。

2.2 音は ABCD の AB は同じで、CD は類似している場合。〈タイプ 2〉

2019 年住友生命の創作四字熟語では、茫然自失から茫然城失（世界遺産の首里城が火災で消失）などがこのタイプである。

2.2.1. 破顔一笑（はがんいっしょう）——破顔一生（はがんいっしょう）——住友生命 1992

音：類似：一笑——一 一生

文字：破顔は同じ

表意： エステティック被害者の弁で顔が破壊されたら、一生もともどらない。

2.2.2. 一心不乱（いっしんふらん）—— 一心仏蘭（いしんふらん）——住友生命 1997

音：類似：不乱——仏蘭

文字：一心は同じ

表意：W 杯サッカーにむけて日本国民の気持ちで、心を一つにして、仏蘭（＝フランス）と戦う。

2.2.3. 無病息災（むびょうそくさい）——無病百歳（むびょうひゃくさい）——『創作四字熟語』 p. 159

音：類似：息災——百歳

文字：無病は同じ

表意：きんさん、ぎんさんに代表されるように、病気を無（＝せ）ずに百歳以上生きる。

2.2.4 一念發起（いちねんほっき）——一念北帰（いちえんほっき）——『創作四字熟語』 p. 166

音：類似：發起——北帰

文字：一念は同じ

表意：北方四島の復帰をひたすら（一念）願う気持ち。

2.2.5 宗教法人（しゅうきょうほうじん）——宗教放神（しゅうきょうほうじん）——『創作四字熟語』 p. 231

音：類似：法人——放神

文字：宗教は同じ

表意：宗教は盛んだけど、肝心な神様はないがしろにされて（放たれて）しまうこと。

2.3 音は ABCD の CD は同じで、AB は類似している場合。〈タイプ 3〉

2019 年住友生命の創作四字熟語では高齢運転から考齡運転（高齢ドライバーの事故）などがこのタイプである

2.3.1 大願成就 (たいがんじょうじゅ) —— 待眼成就 (たいがんじょうじゅ) <タイプ2>

音：類似：大願—待眼

文字：成就は同じ

表意：待ってました！iPS細胞、初の眼の移植手術で光が見え願いが叶い成就しました。

2.3.2 諸行無常 (しよぎょうむじょう) —— 虚業無常 (きよぎょうむじょう) 住友生命2006

音：類似：諸行——虚業

文字：無常は同じ

表意：一時期盛んにもてはやされた企業も上場廃止になり虚しい、この世の中は無常である。

2.3.3 自業自得 (じごうじとく) —— 授業自得 (じゅぎょうじとく)

音：類似：自業——授業

文字：自得は同じ

表意：授業にでたので自分の得になり、ものにできた

2.3.4 一心不乱 (いっしんふらん) —— 医心不乱 (いしんふらん)

音：類似：一心——医心

文字：不乱は同じ

表意：わき目も振り返らず (不乱に) 医学を心ざす。

2.3.5 九死一生 (きゅうしいっしょう) —— 臼歯一生 (きゅうしいっしょう)

音：類似：九死——臼歯

文字：一生は同じ

表意：歯の臼歯は一生使うので大事である。

2.3.6 以心伝心 (いしんでんしん) 似親伝心 (にしんでんしん) —— 『創作四字熟語』

p. 42

音：類似：以心——似親

文字：伝心は同じ

表意：親に似ているた貴乃花関。(当時は)相撲でも二子山親方を超え、今や立派な大横綱になり、さすがに伝統の相撲道の心をついでいた。

2.3.7 色即是空 (しきそくぜくう) —— 室即是空 (しきそくぜくう) —— 『創作四字熟語』

p. 103

音：類似：色即——室即

文字：是空は同じ

表意：バブル時代に着工したビルが完成した今、貸室即ちこれ空室。不況で新規の貸室需要が激減した。これ (是) が現実である。

2.3.8 以心伝心 (いしんでんしん) —— 寄進伝心 (きしんでんしん) —— 『創作四字熟語』

p. 118

音：類似：以心——寄進

文字：伝心は同じ

表意：黙って賄賂を寄進することで、心が伝わってしまうこと。汚職問題が多数表面化したということ。

2.3.9 心機一転（しんきいってん）——新亀一転（しんきいってん）——『創作四字熟語』 p. 170

音：類似：心機——新亀

文字：一転は同じ

表意：今年のプロ野球は、阪神タイガースが、新庄選手や亀山選手などフレッシュな若手選手の活躍によって開幕前のペナント予想を一転させ、最後まで優勝争いに加わりました。

2.3.10 起死回生（きしかいせい）——棄紙回生（きしかいせい）——『創作四字熟語』 p. 191

音：類似：起死——棄紙

文字：回生は同じ

表意：再生紙（棄紙：捨てた紙）活用（回生：生き返らせる）の運動。

2.3.11 本末転倒（ほんまつてんとう）——泡沫転倒（ほうまつてんとう）——『創作四字熟語』 p. 206

音：類似：本末——泡沫

文字：転倒は同じ

表意：バブルにより泡のように消えすぎた（沫）結果、会社などが破産・倒産の憂き目（転倒）を見ること。

2.3.12 因果応報（いんがおうほう）——淫画応報（いんがおうほう）——『創作四字熟語』 p. 216

音：類似：因果（いんが）——淫画（いんが）-

文字：応報は同じ

表意：かわいい娘が、ビデオなど（淫画）に出演するのも、それなりに応じた報酬がある。

3. 問題となるケース

3.1 2文字が同じケース<タイプ4>

2019年住友生命の創作四字熟語では破顔一笑から覇顔溢笑（渋野日向子選手が笑顔あふれるプレイで全英オープン優勝）などがこのタイプである

3.1.1 ABCDで2文字ADが同じケース

無病息災（むじょうそくさい）——無猫即災（むびょうそくさい）——『創作四字熟語』

p. 78

音：類似：無病——無猫、息災——即災

文字：無、災の2文字は同じ

表意：屋外に水入りのペットボトルを置くことで、野良猫はよりつかなく（無）なったが、水がレンズの役目をして即、火災、ボヤ騒ぎが起きた。

Cf. 悪戦苦闘→悪女苦手、温故知新→温泉知識——『ことわざパロディ』

厚顔無恥（こうがんむち）—好顔無知（こうがんむち）——住友生命 1991

音：類似：厚顔——好顔、無恥——無知

文字：無の一文字のみが同じ

表意：姿かたちは綺麗で好みの顔だが、物を知らない（無知）今どきのワカモノ。

3.1.2 ABCD で 2 文字 BD が同じケース

他力本願（たりきほんがん）——輪力念願（わりきねんがん）——『創作四字熟語』

p. 130

音：類似：他力——輪力、本願——念願

文字：力、願の 2 文字は同じ

表意：中高生にブームになっているプロミスリング（ミサンガ）。腕に布の輪を巻いて、それが力で切れると願いが叶う（念願）こと。

Cf. 自給自足→月給不足、弱肉強食→焼肉定食——『ことわざパロディ』

3.1.3 ABCD で 2 文字 BD が異なるケース

右往左往——右英左英——2019 年住友生命の創作四字熟語

表意：EU 離脱問題に右左にゆれる英国（＝イギリス）。

一喜一憂——一機一風——2019 年住友生命の創作四字熟語

表意：一人一台（＝一機）小型扇風機を持ち歩きくこと。

3.2 1 文字が同じケース<タイプ 5>

2018 年住友生命の創作四字熟語では疑心暗鬼から地震暗来（北海道で大きな地震のあとのブラックアウト）などがこのタイプである

3.2.1 ABCD で 1 文字のみ同じケース

無病息災（むびょうそくさい）——一秒即災（いちびょうそくさい）——『創作四字熟語』 p. 169

音：類似：無病——一秒、息災——即災

文字：災の 1 文字のみが同じ

表意：交通事故では一秒でも油断すると即災いが発生すること。

3.2.2 厚顔無恥（こうがんむち）——高官無知（こうかんむち）——住友生命 1996

音：類似：厚顔—高官，無恥——無知

文字：無の一文字のみが同じ

表意：官僚（高官）のスクンダルで、いろいろなことを知らない（無知）こと。

3.2.3 画竜点睛（がりゅうてんせい）——我竜天制（がりょうてんせい）——住友生命 2007

音：類似：画竜一我竜，点睛一天制

文字：竜 の一文字のみが同じ

表意：落合オレ (我) 流野球で中日ドラゴンズ (竜) 53年ぶり日本シリーズ天下を制覇。

3.3 3文字が同じケース<タイプ6>

2019年住友生命の創作四字熟語では勇猛果敢から勇桜果敢 (<桜>を胸に掲げたラグビー日本代表が果敢に強豪国に挑みベスト8になった)

3.3.1 以心伝心 (いしんでんしん) —以心電心 (いしんでんしん) — 『創作四字熟語』 p. 214

音：類似：伝心——電心

文字：以心。心は同じ

表意：通信テクノロジーのめざましい発展で、お互いの心情 (以心) も、電話・FAX・パソコンなどで電心される時代。

4. 元の四字熟語ともじりの四字熟語の意味の落差について

4.1 大願成就 (仏教で人々が悟りを導くという誓願 (大きな願望) が叶うこと

——>待眼成就

表意：医学分野でIPS細胞により待ち続けていた眼科の病気が治る (成就) という大きな願望が叶うこと。

4.2 六根清浄 (意味：仏教では6つの器官、眼、耳、鼻、舌、身、意が清らかで浄化された状態)

——>六冠笑嬢

表意：スポーツ水泳アジア大会で六冠を果たしたときの笑顔のお嬢さん (=池江さん)。

このように精神世界の多くの四字熟語が医学の分野、若者文化やスポーツや社会のさまざまな変化に対応するような創作四字熟語となり、両者の落差が面白さを作り出していると言える。

おわりに

四字熟語の創造的使用についてまとめると以下のような分析が可能である。

<形式的類似性>

音は類似しているが、4文字ABCDがすべて異なるもの<タイプ1>

音はABCDのABは同じで、CDは類似している場合。<タイプ2>

音はABCDのCDは同じで、ABは類似している場合。<タイプ3>

2文字が同じケース<タイプ4>

1文字が同じケース<タイプ5>

3文字が同じケース<タイプ6>

<意味的類似性>

医学の分野、若者文化やスポーツや社会のさまざまな変化に対応するような創作四字熟語がどんどんと造られて、両者の価値観の落差が面白さを作り出していると言える: 全米制覇→全米庭覇 (女子テニスの大坂なおみ選手が全米オープン制覇)、大願成就→対癌賞受 (本庶佑教授にノーベル医学生理学賞。新しいがん治療法発見)

<https://www.sumitomolife.co.jp/about/newsrelease/pdf/2018/190326.pdf>

主要な参考文献

チョン・ジスク (鄭芝淑) (2017) 「日本語と韓国語の四字熟語について」 日本ことわざ文化学会研究発表 (明治大学にて)

Guiraud, Pierre (1976) *Les Jeux de Mots*. Paris: Presses Universitaires de France (中村英子訳. 1979. 『言葉遊び』 東京: 白水社)

桐山はせお (2010) 『文殊の知恵: 四字熟語という知恵袋と日本の将来』 文芸社

小松原 哲太 (2016) 『レトリックと意味の創造性: 言葉の逸脱と認知言語学』 京都大学学術出版会

ことわざパロディ研究会 (2013) 『ことわざパロディ』 Amazon Services International Inc

森章司・小森英明 (2008) 『仏教がわかる四字熟語辞典』 東京堂出版

佐藤友樹監修 (2019) 『四字熟語図鑑』 ナツメ社

須藤隆仙 (1998) 『仏教四文字熟語辞典』 (上下) 新人物往来社

住友生命編 (1996) 『創作四字熟語』 河出書房新社

Wilson, Deirdre and Dan Sperber (1992) “On verbal irony.” *Lingua*. pp. 53-76